



第382号
2024年7月13日

愛教労NEWS

愛知県教職員労働組合協議会

自治体キャラバンの要請懇談の場で

Topic 1

「9連敗しないように頑張ります」

2017年度より学校における教員未配置が顕在化し、2024年度まで8年間連続で教員未配置のまま新学期が始まりました。（下左表参照）

愛知県への要請と懇談の中で、そのことを野球になぞらえて「8連敗」と指摘し、「2025年度は大丈夫ですね」と問うたところ、**県教委担当者は「9連敗しないようにしたい」との決意**を表明しました。参加者15名に向けて発した重い言葉です。



| 年度 | 未配置数 | 非常勤対応数 |
|------|------|--------|
| 2020 | 101 | 36 |
| 2021 | 118 | 34 |
| 2022 | 179 | 46 |
| 2023 | 192 | 92 |
| 2024 | 286 | 152 |

| 年度 | 欠員補充数 | 前年度比較 |
|------|-------|-------|
| 2020 | 1990 | -- |
| 2021 | 2038 | +48 |
| 2022 | 2041 | +3 |
| 2023 | 1943 | -98 |
| 2024 | 1835 | -108 |

県内54自治体に求めたアンケートは、「県が採用計画をしっかりと持ってほしい」「臨時的任用職員ではなく、正規教員で定数を満たしてほしい」との回答が多く寄せられました。根拠のない採用計画で未配置を続け、尻拭いを市町村教委や学校に押しつけ、教員人材バンクを通じてのマッチング、採用試験時に講師登録をアナウンスする事などでお茶を濁してきた県教委の無責任さは指弾されて当然です。定年延長で退職者が少なかった今年こそ欠員をゼロにするチャンスであったのに、定員管理のできない行政機関の存在意義を疑ってしまいます。

唯一評価できるのは、欠員補充（いわゆる定数内の常勤講師）を減らし正規教員に置き換えていく方針ですが、現在の年間100人程度のペースでは18年もかかってしまいます。（上右表参照）

愛教労は、緊急対応として以下のことを要求しています。

- 補欠者を全員正規採用する。
(本年度は補欠229人のうち146人を繰り上げ採用。残りの83人も繰り上げ、全員を正規採用。)
- 出産や育児で心置きなく休めるように、産休・育休の前倒し加配分(今年は130人)を正規職員で配置するよう、採用計画に組み入れる。
- 愛知県の教員になりたくなるように労働条件を改善する。
- 欠員補充者を数年で0にする採用計画をもつ。（多くは、非正規として教壇に立ち、中には学級担任を担っている）

【幹事：近藤】

事務所住所：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26
大須土方ドリームマンション 801 HPはこちら
TEL：052-242-4474
FAX：052-242-2938
Mail：aichi@aikyourou.jp
URL：http://www.aikyourou.jp/



愛知県における任意団体等による
「名簿・金品授受」
に関するアンケートはこちら▶

